

## 産業医研修会（令和元年10月～12月）のご案内

京都産業保健総合支援センターとの共催

お申し込みは、下記（一覧表の下）をご参照ください。

※以下の研修会は、日認定産業医研修会として申請中

日時・場所	テーマと概要	定員	講師
10月9日（水） 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 （JR二条駅東側）	<p><b>「法令の眼から見る職場巡視のポイント（製造業・建設業編）」</b> 職場巡視は産業医、衛生管理者などに法で義務付けられた重要な職務です。産業医・産業保健スタッフが職場巡視を行うときの見るポイントを写真などで紹介しながら、安衛法や安衛則、有機則など諸規則の観点から解説します。</p> <p>生涯（更新）2単位</p>	66名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 玉泉孝次 氏
10月12日（土） 午後2時15分～ 午後4時15分 京都府医師会館 6階会議室 （JR二条駅東側）	<p><b>「うつ病とその周辺」</b> 職場のメンタルヘルスを考えると、やはり「うつ病」や「うつ状態」にすることが大きな課題となっています。一方で、診断書に「うつ病」「うつ状態」と書かれていたとしても、その実態としては、いわゆる「古典的なうつ病」なのか、「新型うつ病」なのか、双極性障害のうつ状態なのか、あるいは依存症が隠れているのか、そのうつ状態の背景として発達障害の問題があるものなのか…適切な対応や復職に向けた支援を考えると、このような背景や関連する疾患を理解する必要があります。ここでは、うつ病およびうつ病に関連のある疾患や障害についてお話させていただきます。</p> <p>生涯（専門）2単位</p>	66名	京都市こころの健康 増進センター センター長 波床 将材 氏
10月30日（水） 午後2時～ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 （JR二条駅東側）	<p><b>「健康と医療に関する情報のチェックポイント～エビデンスに基づく産業保健に向けて～」</b> 今日、健康や医療の情報は、メディア、インターネット、ロコミなどさまざまな形で世の中に溢れています。しかし、何が正しいのか、何を信じたらよいのか、分からなくなっているのが現代人の共通の悩みとも言えます。情報に振り回されず、それを活用できる力はヘルスリテラシー、または健康情報リテラシーと呼ばれます。講演では、より良い産業保健の専門家にとって必要な情報のチェックポイントと、その手がかりとなる疫学やエビデンスについてのお話しをしたいと思います。</p> <p>※平成31年1月17日に開催した研修と同内容です。</p> <p>生涯（専門）2単位</p>	66名	京都大学大学院 医学研究科 副研究科長 社会健康医学系専攻 専攻長 健康情報学分野 教授 中山 健夫 氏
10月31日（木） 午後2時～ 午後4時 市民交流プラザ ふくちやま 3階視聴覚室 （JR福知山駅すぐ）	<p><b>「労働者災害補償保険制度の概要について」</b> 労災保険制度の円滑な運用には、産業保健に関わる方々や人事労務の担当者、その内容をご理解いただくことが必要ですので、労災保険の適用をはじめとして、業務災害・通勤災害、業務上疾病の認定、労災保険給付の内容、労災保険給付と損害賠償の調整等についてご説明いたします。</p> <p>生涯（更新）2単位</p>	45名	京都労働局 労働基準部 労災補償課 課長 目黒 彰一 氏

<p>11月2日(土) 午後2時15分~ 午後4時15分 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「勤務医のための産業医講座」</b>          ストレスチェック制度や働き方改革など労働環境の変化の中で、産業医に求められる役割は年々重要性を増しています。平成31年2月には日医認定産業医数は10万人を突破し、毎年2000人以上が新たに登録されていますが、多くの認定産業医は、臨床業務の傍ら嘱託産業医として活動しています。産業医契約や巡視報告書の作成、面談のポイントなど、これから産業医を始める臨床医に必要な産業医実務の研修会を企画しました。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>京都産業保健          総合支援センター          相談員 古海勝彦氏</p>
<p>11月6日(水) 午後2時~ 午後4時 産保センター 2階会議室AB ※公共交通機関をご利用下さい</p>	<p><b>「作業環境測定機器取扱実務研修」</b>          騒音計、照度計、粉じん計等の各種作業環境測定機器に実際に触れて、その取扱い方法を学びます。          ※ 研修内容の都合上、大幅な遅刻は講師や他の受講者へのご迷惑となりますので、時間厳守をお願いいたします。</p> <p>生涯(実地)2単位</p>	<p>20名</p>	<p>京都産業保健総合          支援センター          相談員 岡本浩氏          相談員 桑村明男氏</p>
<p>11月14日(木) 午後2時~ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「治療と就労の両立支援 選択制がん罹患社員用就業規則標準フォーマットの活用について」</b>          日本初の「がん患者大規模復職コホート研究(順天堂大学医学部公衆衛生学講座准教授 遠藤源樹)から導かれたエビデンスをもとに開発された「がん時代」における就労支援ツール「選択制がん罹患社員用就業規則標準フォーマット」の意義および活用について解説します。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>がん患者就労支援ネットワーク          特定社会保険労務士          前田康彦氏</p>
<p>11月21日(木) 午後2時~ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「歯科予防活動について」</b>          歯科の予防(お口を清潔に保つこと)が入院期間の短縮や術後感染の予防に効果があり、医療費の抑制につながると言われています。これらの説明と、今求められている口腔健康管理についてお話させていただきます。          ※平成30年11月15日に開催した研修と同内容です。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>京都産業保健          総合支援センター          相談員 吉川洋史氏</p>
<p>12月5日(木) 午後2時~ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「高血圧の基準は厳しくなったのか？」</b>          今年の4月に「高血圧治療ガイドライン」が5年ぶりに改訂されました(JSH2019)。それにともない基準が厳しくなったとの報道が一部でなされたため、職場では対応に困っておられる方も多いようです。今回の研修会では、高血圧のリスクや指導・管理の要点について、健康管理の視点からお話したいと思います。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>京都産業保健          総合支援センター          相談員 酒井泰彦氏</p>
<p>12月14日(土) 午後2時15分~ 午後4時15分 産保センター 2階会議室AB ※公共交通機関をご利用下さい</p>	<p><b>「産業保健と法~飲みすぎて肝臓がんにかかった労働者に関する事例を素材として~」</b>          接待等での飲食が多い渉外部門に配置されて以後、アルコール性肝炎に罹患したが、その後も同じペースで同じ仕事をし続けた結果、肝臓がんとなり、ようやくいくつかの就業の配慮を受けたものの、企業の業績悪化に際して退職措置を受け、後に死亡したという事案を素材として、労災に当たるか否か、関係者の健康情報取り扱いの合法性、産業医の法的責任の有無、賃金減額措置の合法性などについて論じます。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>55名</p>	<p>近畿大学法学部          教授 三柴丈典氏</p>

<p>12月18日(水) 午後2時~ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「個人ばく露測定とリスクアセスメントの進め方」</b> 化学物質のリスクアセスメントを実施する上で、最も困難なことはリスクの見積りです。現在では、職場の作業環境測定結果から作業者のばく露濃度を推定する方法等が用いられていますが、その精度は今一つというところがあります。厚生労働省では、法令改正を含めて、個人ばく露測定を可能とすることが検討されています。これらの内容を含めてリスクアセスメントの進め方について説明します。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>京都産業保健 総合支援センター 相談員 高田志郎 氏</p>
<p>12月19日(木) 午後2時~ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「職場における感染症アップデートー最新情報を知って常に備えるー」</b> 2019年は三重県、大阪府などでの麻疹の集団発生で幕を開け、現在、2015年の麻疹排除宣言以来最大の増加率で麻疹患者数は増えています。患者の中心は麻疹の免疫が不十分な20代から40代の働き盛りです。また、手足口病、伝染性紅斑が流行し、小児の感染症が成人にも広がっています。この研修会では職場で問題となる感染症の最新情報を提供し、感染予防策について考えていきたいと思ひます。</p> <p>生涯(専門)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>京都市立病院 感染症科部長 清水 恒広 氏</p>
<p>12月25日(水) 午後2時~ 午後4時 京都府医師会館 6階会議室 (JR二条駅東側)</p>	<p><b>「災害事例と労働安全衛生法令」</b> 産業の“現場”で生じている労働災害だけではなく、新聞などに報道されている災害にも、労働安全衛生法令の規定を知り、沿った対応ができていれば防止できたものが少なからずあります。本研修では、実際に起こった災害を取り上げ、その防止に有効な労働安全衛生法令上の対応について確認していきます。</p> <p>生涯(更新)2単位</p>	<p>66名</p>	<p>京都産業保健 総合支援センター 相談員 篠原耕一 氏</p>

■ お申し込み方法 ■

「京都産業保健総合支援センター」ホームページ( <https://www.kyotos.johas.go.jp> )からお申し込み下さい。定員に達している場合はお申し込み出来ませんので、ホームページでご確認ください。

■ お問合せ先 ■

独立行政法人労働者健康安全機構 京都産業保健総合支援センター

電話. 075-212-2600 FAX. 075-212-2700

〒604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町361-1 アーバネックス御池ビル東館5階